

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

作成主管課	生涯学習課
	関係課
施策名	文化財
施策コード	5-3-1

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕
	小政策	3 個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます
現況と課題	<p>本市に残され、継承されている文化財は、歴史や風土を知るうえで欠かせないものであると同時に、新たな発展の素材となり得る財産です。そして、緑豊かな田園や里山、生活の風景は、本市の魅力となっています。しかしながら、継承する地域における高齢化や財政的な問題から、後世へ継承していくことが困難な状況にあります。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、市が誇る有形文化財にも、著しい被害が発生し、修復には時間と技術を要する状況にあります。</p> <p>本市では、文化財の調査、研究を実施しながら、年次的に文化財の指定を行うとともに、資料館における展示や環境整備を進めてきました。また、開発によって貴重な文化財を損失することがないように、適切な埋蔵文化財保護体制の確立に努め、平成23年には、郷土意識の高揚を図るため、合併後初となる新笠間市史を発刊しました。</p> <p>今後は、地域資源を生かしたまちづくりを進めるうえでも、その基礎となる本市の有形・無形文化財について、関係機関と連携し適切な保護・活用を図りながら、情報発信にも力を入れていく必要があります。</p>	
施策目標	市の魅力向上や今後の地域づくりに資する資源として、地域との協力のもと、さまざまな機会を通じた情報発信や関係機関との連携を図りながら、専門性や承継体制を確立し、歴史的・文化的資源の保全と活用を推進します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	地元管理で次の世代に引き継いだときに管理をしてもらえるのか心配している。
-------------	--------------------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
歴史的・文化的資源が有効に活用されていると感じている市民の割合	市民実感度	38.160	34.230	31.120			
	加重平均値	2.334	2.298	2.330			
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		79.220	80.120			
	加重平均値		3.226	3.158			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
資料館の入場者数 (笠間市立歴史民俗資料館)	目標値	人		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績値	人	1,575	1,296	1,460			
	達成度	%		108.00	121.70			
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	歴史的・文化的資源の保全と活用が図られているか、歴史的・文化的資料を展示している歴史民俗資料館の入場者数とした。
	目標値設定の考え方	歴史民俗資料館の入場者数拡大を目指し、年間入場者数を10人増とした。

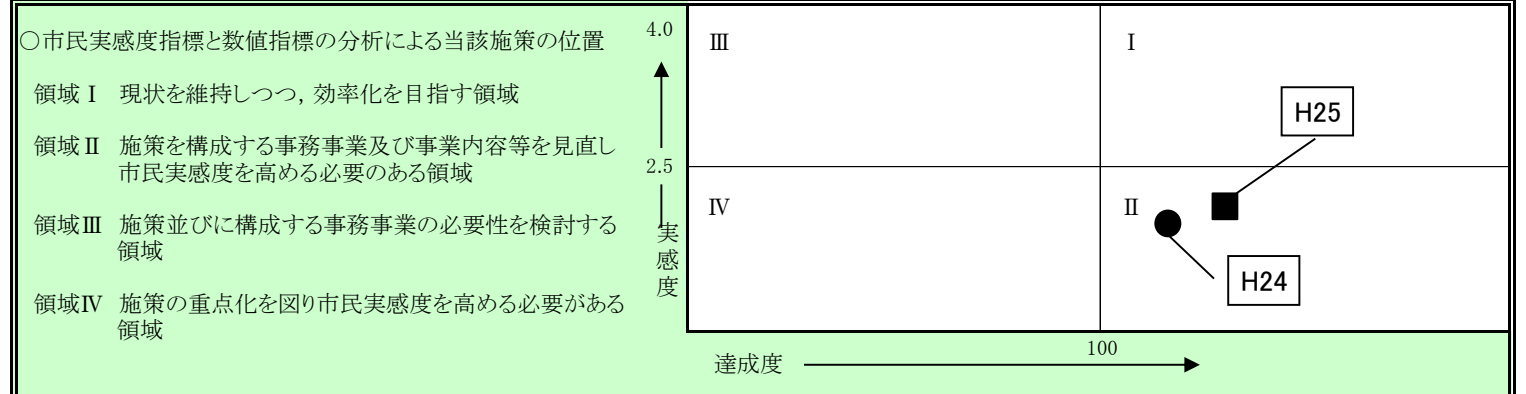
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市民一人ひとりが文化財保護の意識を持ち、地域や団体が協力しながら保護し、後世に継承していく。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 文化財の維持管理を適切に行い、文化財の展示や情報の発信により保護・継承に努める。

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財に関する広報活動を行うとともに、文化財保護関係団体へ補助金を交付した。</li> <li>新規に市指定文化財3件の登録を行った。</li> <li>開発に伴う埋蔵文化財の照会業務、現地調査及び試掘(10件)を行った。</li> <li>市史の研究事業を継続するとともに、笠間にゆかりのある功労者を扱った「かがやく笠間の先人たち」を刊行した。</li> <li>笠間城の保全のために「笠間城跡保存整備基礎調査報告書」を策定した。</li> </ul>
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 新規に市指定文化財の指定を行った他、市内に残る貴重な文化財の保存・活用を行うことができた。また、事業の実施等を通じ、市民が身近な地域の歴史や文化を学び、文化財保護の意識醸成が図れた。
-------	--

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 文化財の保護及び調査、情報発信に関する事業であり、歴史的・文化的資源の保全と活用には必要な事業であり、妥当と思われる。
------------	--

残された課題	平成26年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 発掘された遺物を現在岩間資料館に保管しているが、取壊しの方針であり、代替の保管場所を至急を確保しなければならない。埋蔵文化財の保全については、開発の際に保存措置が法的に求められる現状で、市民の関与が限定的であるため、関心か薄い。
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	平成27年度に向けた施策方針 歴史的・文化的資源の保全と活用を図り、後世に継承していく。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価
			成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
1	文化財愛護協会事業	政策的事業	小学生郷土教室参加者数 児童生徒郷土研究発表参加者数	人 人	77 54	69 76	59 73	市単	41	41	41	12
2	塙家住宅管理事業	維持管理事業	保守点検回数	回	2	2	2	市単	25	25	25	8
3	指定文化財管理事業	政策的事業	修復等件数	件	2	2	2	市単	53	195	540	8
4	資料館運営事業	維持管理事業	入館者数	人	1,575	1,296	1,460	市単	2,111	3,043	5,899	1
5	埋蔵文化財保護事業	義務的事業	埋蔵文化財保護件数	件	8	5	10	市単	582	370	837	義務的事業
6	市史研究事業	政策的事業	資料数	点	—	—	—	市単	1,252	973	1,312	3
7	文化財支援事業	政策的事業	文化財修復数	件	—	9	4	市単	—	3,489	1,676	6
8	ふるさと資料館整備事業	建設・整備事業	修繕工事件数 説明板設置工事	件	1	—	1	市単	1,869	550	669	12
9	笠間の先人たち刊行事業	政策的事業	掲載した先人数 発刊部数	人 部	—	—	56 2,000	市単	—	363	2,184	休廃止
10	笠間城保存整備調査事業	政策的事業	報告書印刷数	冊	—	—	300	市単	—	—	3,834	2
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
事業費合計									5,933	9,049	17,017	

# シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 文化財



法定受託事務(義務的事業に分類)
埋蔵文化財保護事業

事務事業の成果基準の説明
--------------

# シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 文化財

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1 資料館運営事業	2 笠間城保存整備調査事業	4
3 市史研究事業	5	7
6 文化財支援事業	8 指定文化財管理事業 塙家住宅管理事業	10
9	11	12 文化財愛護協会事業 ふるさと資料館整備事業

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア
笠間の先人たち刊行事業

法定受託事務(義務的の事業に分類)
埋蔵文化財保護事業
事務事業の成果基準の説明